「助けや危険を知らせる音」のアンケートご協力のお願い

子どもたちは小学校に入学すると、犯罪から身を守る為に防犯ブザーが配布されます。また、頻発する自然災害では、救助を求める（伝える）音や声の重要性を改めて感じます。そこで、ＮＡＣＳ「標準を考える会」では、防犯に限らず、暮らしの中で「人に助けを求めたい時」「誰かに危険を知らせたい時」など様々な状況で必要とされる、**「助けや危険を知らせる音」のデザイン・標準化**を検討しています。それには、どのような音がいいか、またその活用方法などについて皆様にお聞きします。

１．あなたにとって、助けを求めたい・危険を知らせたい時とは、どのような場合を思い浮かべますか？　例：自然災害・事件・事故など

２．助けや危険を知らせる音はどんな音がいいと思いますか？
①～③のいずれか一つを選び、具体的な音などを書いてください。

①言語音声：　例：「助けて～」など
②信号音:　例:ベル音(自転車)、サイレン(パトカー)、メロディ(駅の発車音)など
③言語音声と信号音:　例:　**「"左へ曲がります、ご注意下さい"＋ピロピロピローン」（トラックなど）**

（　　番）
具体的には？
（　　）

3.「助けや危険を知らせる音」の標準化ができた場合、どのような活用ができると思いますか？
例:　防犯ブザー音を統一し、地域での子どもや高齢者の見守りで活用するなど

4. 防犯ブザーを持っていますか？
①持っていない
②持っている　　→何個持っていますか？（　　個）
→持ち歩いていますか？（　YES　　NO　）
→電池チェックや、いざという時の使い方の確認をしていますか？（　YES　　NO　）

5.「助けや危険を知らせる音」について、自由にご意見をお聞かせください（裏面もお使いください）

【あなたの年代】
２０代・３０代・４０代・５０代
６０代・７０代・８０代

【家族構成】
単身
あなたを含めた同居の人数（　　人　）

ご協力ありがとうございました　標準化を考える会
お問合せ先　：　k-hyojyunka@nacs-east.jp